



#### 第174回水道統計編纂専門委員会（6月8日）

はじめに、議題1「副委員長の互選」が上程され、審議の結果、横浜市水道局の有田委員が選出された。

続いて、報告事項1「水道統計編纂専門委員会のスケジュール」、報告事項2「水道統計施設・業務編検索システム（配布用）集計機能における各項目の分類（表示）方法（追加分）」、報告事項3「水道統計における追加調査 表8-1. 法定耐用年数を越えた浄水能力の修正点」について、事務局より説明があった。

続いて、議題2「水道統計の経年分析（平成27年度）」、議題3「平成28年度水道統計調査」について、上程され審議の結果、了承された。

#### 第714回抄録委員会（6月13日）

本誌9月号及び10月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。

#### 第10回水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（6月14日）

水道用ポリアクリルアミドと水道用過酸化水素の2規格について審議を行った。

水道用ポリアクリルアミドの規格については、規格案に対する各委員の意見を踏まえ全体の構成を確定した。薬品中に含まれるアクリルアミドの分析方法として、LC-MS法、HPLC法、GC-MS法を検討することとした。

水道用過酸化水素の規格については、濃度35%と45%の製品を対象とした原案を提示し、この方針を進めることを了承した。併せて、添加される安定剤は食品用過酸化水素と同様にリン酸塩のみとすることも了承した。今後、品質と衛生性評価項目の検討実施を確認した。

#### 第172回水質試験方法等調査専門委員会（6月19日）

走出厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課水道水質管理室室長補佐から最近の水道行政に関し、水道法改正の状況、検査方法告示の改正内容、水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインの改正予定、検査方法告示の改正予定等について情報提供があった。

全体会では、上水試験方法の改訂、告示法改正に向けての検量線濃度範囲の検証結果等について検討を行った。各部会では懸案事項について検討を行った。

### 第121回水道 GLP 認定委員会（6月20日）

水道 GLP 認定について、一般財団法人広島環境保健協会（JWWA-GLP133）が新規認定検査機関として審議され決定された。

また、浜松市上下水道部（JWWA-GLP050）が認定更新検査機関として、福山市上下水道局（JWWA-GLP027）、株式会社安全性研究センター（JWWA-GLP120）と株式会社エオネックス（JWWA-GLP121）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

### 第956回会誌編集委員会（6月21日）

本誌7月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議した。

### 第21回水道用塗料等に関する規格専門委員会（6月23日）

初めに委員長の互選を行い、宮本浩治大阪市水道局工務部工務課長が選出された。その後、副委員長に宗友信夫岡山市水道局配水課長が指名され、了承された。

続いて、水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 143）の規格本文及び解説の改正案について審議を行い、一部修正の上、了承された。

なお、上記の規格改正案は、7月に開催予定の第186回工務常設調査委員会へ上程する予定である。

### 平成29年度第2回理事会（6月29日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第90回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



### 平成29年度第3回理事会（6月29日）

吉田理事が議長となり、第1号議案「代表理事の選定」が上程され、審議の結果、吉田理事が代表理事に決定した。

次に、第2号議案「公益社団法人日本水道協会第91回総会の開催及び開催通知の送付」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



## 第90回総会（6月29日）

第90回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約600名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して吉田理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長（代読：宮崎医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課長）、総務省自治財政局長（代読：本島自治財政局公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：  
吉田理事長



厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長祝辞：  
宮崎医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課長



総務省自治財政局長祝辞：  
本島自治財政局公営企業経営室長



監査報告：内藤監事

開会式の後、定款の定めにより吉田理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「役員の変更」について、事務局より提案資料に基づき新役員について説明があり、審議の結果、原案のとおり、新役員を決定した。次に、第2号議案「運営会議委員の変更」について、事務局より提案資料に基づき委員改選について説明があり、審議の結果、原案のとおり新委員を決定した。続いて、第3号議案「平成28年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第3号議案については、事務局の説明に続き監事を代表して内藤重治氏から監査報告があった。

次に、報告事項として「平成29年度公益社団法人日本水道協会会計予算」、「平成30年度水道関係予算等の陳情」及び「2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会」について、配布資料に基づき、事務局より説明があった。

議事終了後、「水道法改正に向けて～水道行政の現状と今後のあり方～」と題し、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課長の宮崎正信氏を講師に迎え、特別講演を開催した。



特別講演「水道法改正に向けて～水道行政の現状と今後のあり方～」



講師：宮崎厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課長

#### 第175回水道統計編纂専門委員会（7月5日）

議題1「水道統計の経年分析」について、水道協会雑誌8月号へ掲載する「水道統計経年分析（平成27年度）」の原稿に基づき、各委員より担当箇所の修正等について説明があり、審議の結果、了承された。

水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月1日～2日、仙台市：6月6日～7日、  
前橋市：6月8日～9日、金沢市：6月13日～14日、  
近江八幡市：6月15日～16日、松江市：6月20日～21日、  
佐賀市：6月21日～22日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者の方々622名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講義①「水道法改正に向けて～水道行政の現状と今後のあり方について～」、特別講義②「地震等緊急時対応について」について研修を実施した。

#### 水道事業事務研修会（経営部門、Aコース）（6月14日～16日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々91名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」「会計実務～例題・演習～」、「水道料金」、「決算書の見方」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

#### 浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第2回 6月20日～23日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

#### 漏水防止講座（東京会場第1回：6月21日～23日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々58名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使つての实地研修を行った。

#### 水道事業事務研修会（経営部門、Bコース）（6月26日～30日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年以上）の方々52名の参加を得て「水道経営」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における財務会計（例題・演習）」、「水道料金・同演習」、「経営分析・同演習」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」「水道事業における経営戦略の策定」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会初日及び最終日に行われたグループ別ディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

#### 未納料金対策実務研修会（東京会場第1回：7月4日～5日）

水道料金徴収業務に携わるの方々62名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。